

東武住販

若年層を取り込み業績拡大



ネット通販に注力
売上高37.8%増

4月11日、東武住販(3297)が2016年5月期通期業績の修正を発表した。今期業績は期初計画比で売上高6.7%増、営業利益19.2%増、経常利益20.6%増、最終利益36.7%増となる見通しとなった。

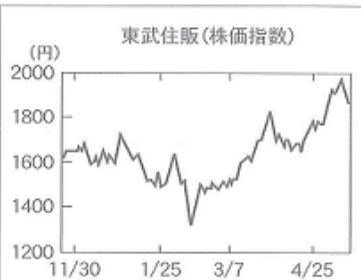
同社は、山口・福岡県地盤で中古住宅のリノベーション販売を手掛けており、販売価格1500万円以下の物件が中心であることから20代から30代の若年層が主要顧客だ。今期は自社不動産販売が堅調に推移し、通期決算までに販売件数が当初予想より14件増の323件となる見込みとなった。これが業績に寄与し、今回の上方修正につながった。

株価は、4月19日まで利食いの影響を受けて1700円前後でもみ合った。その後は買いが優勢となり5月12日には一時、年初来高値1939円をつけた。現在は1868円(5月19日終値)。それでもPER7.1倍と割安感が強い。

直近である第3四半期による賃貸収入減等が業績に影響した。不動産管理事業は売上高1億1000万円(同37.8%増)、セグメント利益1900万円(同75.8%増)と堅調に推移。大型リフォーム工事の受注や、10年超の火災保険契約が2015年9月で廃止されたことに伴う駆け込み需要、AmazonおよびYahooの通販サイト経由による販売が増加したことで増収増益となった。

不動産売買仲介では、同業他社との連携強化による情報収集で、売買仲介件数が大幅に増加した。不動産賃貸事業は売上高9900万円(同18.7%減)、セグメント利益1900万円(同30.9%減)。賃貸仲介件数は2015年4月に賃貸ビルの一部を売却したこと

による賃貸収入減等が業績に影響した。配当は前期より据え置き、1株あたり40円とする意向だ。



株価(5月26日) 1946円
2016年9月期 第3四半期業績

項目	金額	前年同期比
売上高	40億4000万円	24.2%増
営業利益	3億8800万円	72.3%増
経常利益	3億8500万円	76%増
四半期純利益	2億6200万円	93.3%増

2016年5月期 通期業績予想

項目	金額	前期比
売上高	53億5000万円	17.3%増
営業利益	5億3000万円	52.2%増
経常利益	5億2500万円	53.6%増
当期純利益	3億5700万円	55.5%増